

市議会9月定例会

まちづくり条例の改正などを可決

平塚市議会は、8月27日から9月22日まで27日間の会期で9月定例会を開催しました。
今定例会には21年度一般会計・特別会計および病院事業の決算や、22年度一般会計等の補正予算、まちづくり条例の見直しなど29案件が提案されました。このうち21年度決算にかかる議案については、特別委員会を設置して継続審査とすることが決まりました。そのほか、報告を除く22議案については、すべて原案どおり可決しました。
※議案名と審議の結果を8面に掲載しています。

2年目の見直し

「まちづくり条例」

「平塚市まちづくり条例」は、本市のまちづくりの基本理念や、市民や事業者、行政が協働でまちづくりを進めるための仕組みや手続き、開発事業に伴う手続きや基準などを定めた条例です。平成20年7月に施行されたこの条例では、施行から2年以内に見直しを行うことを附則で定めていることから、今回開発事業にお

ける住民説明会の開催条件など、条例運用上の問題や課題を整理する見直しが行われました。

大型ビジョン設置へ関係条例を改正

平塚競技場に大型映像装置を設置することに伴い、関係条例である平塚市都市公園条例に使用料などが定められました。
◆主な使用形態と1時間当たりの料金
●職業人による運動競技で



幅18m高さ10m、800インチの大型ビジョンが間もなく平塚競技場に登場
※写真は合成によるイメージです

消防訓練施設などの工事契約締結を議決

今定例会では、次の3件の工事契約を結ぶに当たり、金額の条件から議会の議決が求められました。

- 消防署大野出張所・消防訓練施設新築工事(建築)
●契約額 3億6330万円/契約先 (株)エス・ケイ・デイ
- 中央公民館ホール舞台照明設備改修工事
●契約額 2億2375万円/契約先 共栄
- 東光建設共同企業体
●吉沢浄化センター建設工事(土木・建築)
●契約額 2億6460万円/契約先 (株)中澤組

交付税8億5千万余円を計上

補正予算

平塚市は普通交付税交付団体に

税収の落ち込みなどから、今年度本市は10年ぶりに国から地方交付税のうち普通交付税の配分を受けることになり、今定例会で一般会計の歳入に「地方交付税」を8億5291万4000円増額する補正予算が提案されました。また、これに代わり財政調整基金からの繰入金を5億円、臨時財政対策債の借入れを3億5000万円、それぞれ減額する提案がありました。

なり、総額は762億5146万2000円となりました。主な補正の内容は次のとおりです。

- 歳入
●民生費国庫補助金 1034万1000円
- 民生費県補助金 3650万5000円
- 前年度繰越金 2億4717万7000円
- 歳出
●介護保険施設整備費等助成事業(介護施設の緊急整備などの補助金) 4189万6000円
- 総合公園管理運営事業(平塚競技場に新設する大

1面の写真を募集します



「ひらつか議会だより」第172号(平成23年1月下旬発行予定)に掲載する写真を募集しています。

テーマ: 平塚市内で撮影した季節が感じられる写真

応募資格: 市内在住、在勤・在学の方

規格: 2Lサイズ(未発表の作品)

応募方法: 所定の用紙(ホームページからダウンロードできます)に必要事項を記入し、議会局(〒254-8686 浅間町9-1)へ

※応募写真は返却しません。また、採用した写真は議会だよりのほかにも市のホームページなどに掲載する場合があります。詳しくは、ホームページをご覧になるか、議会局調査担当へお問い合わせください。

指定管理制度で行うための委託料) 4767万円
●道路施設改修事業(主要な道路の改修工事費) 1億1000万円
※特別会計補正予算については7面に概要を掲載しています。

晩秋の崇善公民館

見附町の崇善公民館は、戦後間もない昭和25年(1950年)に市議会の議事堂として建てられました。《撮影 杉崎新一郎さん/黒部丘》